GOVERNOR´S MONTHLY LETTER Vol.2

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

BACK, To the FUTURE

～基本に戻って、未来へ～

Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第２６６０地区
ガバナー　簡　仁一
2020-2021 年度

ガバナー月信８月号

CONTENTS

ガバナーメッセージ（会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて） 1
会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって 2
2023－24年度 ガバナー候補者推薦受付けについて 4
青少年交換委員会 派遣候補生最終オリエンテーションおよびROTEX総会 報告 5
2020学年度 米山奨学生オリエンテーション 報告 7
2020年度 米山奨学生学友会（関西）総会 報告 9
地区ローターアクト活動報告 11
MY ROTARY 登録状況 13
コーディネーターニュース 14
ハイライトよねやま 16
敬弔・お知らせ 18

甘党四季こよみ　～葉月＜かき氷の巻＞～

　愛してやまないもの、といえば、甘いものに宝塚歌劇団。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、４か月余り休演していた宝塚歌劇が７月半ばに再開されました。公演後、余韻に浸りながら、かき氷とともにくつろぐのが、夏の楽しみです。
　大劇場から北東に歩いて３分ほどの「CHA-salon SAKURA-MOMIJI（さくらもみじ）」。48時間以上かけてじっくりと凍らせた不純物が入っていない氷に、宇治の抹茶をたっぷり使ったかき氷で涼みます。生クリームとエバミルクをムース状に仕立てた泡「エスプーマ」が乗せられ、ふんわり浮かぶ雲のよう。
　清少納言は「枕草子」の「あてなるもの（上品なもの）」に、「削り氷にあまづら（甘いつゆ）入れて」と記していますが、冷蔵庫のない当時、氷は貴重品でした。
　今は、気軽に味わえるかき氷。抹茶の香りを堪能しつつ、久々の観劇の話に花が咲きます。

ガバナー月信担当幹事　鈴木一正

ガバナーメッセージ

会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー　簡　仁一
（茨木RC）

ホルガー・クナーク会長は、１月20日に開催された国際協議会で、「数字を掲げて成長を求めるようなことはしません」と述べられました。「皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えていただきたい」「いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか」だ、とも強調されました。

クラブの活力低下を防ぐため、会員数を増やすことはもちろん、重要です。しかし、世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大している状況においては、数字による目標値の設定よりも、まず、「退会防止」を心がけなくてはなりません。

私たちが直面している現状は、社会全体の経済活動、さらにはロータリアンの事業活動にも大きな影響を及ぼしています。困難な時期だからこそ、ロータリーの原点に戻り、手を差し伸べ合う相互扶助の精神を思い起こしましょう。ロータリアン同士、知識と経験を共有して寄り添うことで、これまで以上に絆を深めましょう。そうして仲間同士が思いを一つにし、世の中に希望を与える奉仕活動を実践することで、ロータリーの奉仕の精神に共感をおぼえる「新会員獲得」につなげられれば、と思います。

「新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」。これも、ホルガ―・クナーク会長の言葉です。

ロータリーにおける活動を楽しみ、新たな出会いを喜ぶ。そんなロータリーの本質を今、この試練の時にこそ見つめ直しましょう。

皆さまのクラブが、これまでの仲間とのつながりを大切にしつつ、新たな仲間を迎え入れることができれば、と心より願っています。

会員増強・新クラブ結成推進月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長　加 茂 次 也
（東大阪RC）

８月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。ホルガ―・クナークRI会長のメッセージの最初は「現会員を維持し、さらにクラブにふさわしい新会員を募って組織を強くし、行動を起こすことで、ロータリーを成長させていこう。」です。また、簡 仁一ガバナーも地区年次目標の冒頭に「会員基盤の強化」を置かれています。これは昨年度からのコロナ禍による経済的打撃と、例会休会をはじめとして会合が持てずロータリー活動の危機的状況を招いたことにより、入会者の減少と退会者の増大が予想されたことがその背景にあると思われます。事実、地区全体の会員数は３月末から５月末にかけて例年であれば増加するところ、前年度は減少し続けました。このことから６月末には年度初の地区全体の会員数を大幅に下回ることが予想されました。結果的には地区内80クラブ中40クラブが減員、28クラブが増員、12クラブが増減なしで、昨年度末の地区内会員数は3,554名と年度初と比べて20名の減少に留まり、予想を裏切る嬉しい結果となりました。これはひとえに各クラブで退会防止と会員増強に努められた賜物と思っております。（注 会員数は7/21時点My Rotaryによる）

今回の劣悪な状況の中で会員増強に成功されてたクラブは、会長の強いリーダーシップの下で会員が積極的に増強活動に取り組まれていました。そして、数字として表面的には出て来ませんが、クラブ細則の変更により会員種別を多様化して、退会防止に努められたクラブも多かったのではないかと拝察しております。

また、昨年度増強に成功されたクラブの一つに東大阪東ロータリークラブがあります。「東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ」を結成し、最終的に９名増となりました。一昨年度結成された「大阪南なみはやロータリー衛星クラブ」並びに「大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブ」がRAC出身者を中心として結成されたのに対し、退会者・会員の配偶者・会員の子弟等からなる衛星クラブで、衛星クラブ結成の新しいタイプとして注目されます。

今更申し上げるまでもなく、あらゆる組織において会員の維持拡大は組織を活性化する最大要因です。ありえない話ではありますが、平均年齢60歳のクラブが10年間一人も新入会員が入らず、また全く退会者もいなければ当然そのクラブの平均年齢は70歳となります。同じ会員同士で変化の乏しく発展も見込めないクラブになる可能性大であります。当地区ではここ数年、年度初めの会員数は3,500名台で始まり、一年度の間に300名近くの会員の出入りがあり、年度末に年度初めの会員数に戻るパターンを繰り返してきました。このことから会員の退会防止が重視されてきましたが、今年度は経済環境の悪化によりさらに重要度を増すと考えられます。ロータリー活動の根本はクラブであるわけですので、各クラブの実情にあったそれぞれの会員の退会防止策と増強活動があるとは思います。しかし共通していえることは、例会、奉仕活動、会員親睦等を工夫して魅力あるクラブを作って行く事が、会員の退会防止と増強活動を成功に導

く根幹であるということです。

「私が思いますのに、こういうような一つの不景気と申しますか、変調期というときは、躍進の機会が与えられるときやないかと思います。一時はへっこむけれど、へっこんだときに、われわれはつぎに何をすべきかということを考え、それを準備する期間になるわけです。」これはロータリアンでもあった松下幸之助氏の言葉です。今日のコロナ禍はまさに世界にとり、日本にとり、そしてロータリークラブにとっての「変調期」で「つぎに何をすべきか」を考え準備する時期だと思えます。この困難に先輩諸兄の叡智と若い会員の斬新な発想と行動力で立ち向かうことにより、クラブが鍛えられ、人材が育っていくものと信じています。この一年間を通じて会長の強いリーダーシップのもと、会員一丸となっての魅力あるクラブづくりにより、会員増を目指して頂きます様お願い申し上げます。

2023－24年度
ガバナー候補者推薦受付けについて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー　簡　仁一
（茨木RC）

直前ガバナー
地区ガバナー指名委員会 委員長　四宮孝郎
（大阪西南RC）

国際ロータリー（RI）細則第12条010・020・030節及び地区ガバナー指名委員会の規定により、2023－24年度ガバナー候補者の各クラブからの推薦を下記の通り受付けます。なお、RI細則第12条030節4項の定めるところにより、地区ガバナー指名委員会がガバナー候補者を選考するに当たっては、その対象は地区内クラブより推薦された候補者に限定されるものでないことをお含み置き下さい。

ご不明な点がありましたら、ご遠慮なくガバナー事務所にお問い合わせ下さい。

記

候補者の資格条件：RI細則第16条010・020節に定める資格条件を満たすこと
推薦受付期間：2020年8月3日（月）～ 2020年10月31日（土）
提　出　書　類：クラブ会長の推薦書及び候補者履歴書
提　　出　　先：地区ガバナー指名委員会委員長宛（ガバナー事務所）

以上

青少年交換委員会
派遣候補生 最終オリエンテーションおよび ROTEX 総会 報告

2019－20年度 青少年交換委員会 委員長　松尾　治
（東大阪西RC）

日　時：2020年6月20日（土）15:30～17:20　派遣候補生 最終オリエンテーション
17:30～19:00　ROTEX総会
場　所：ヴィアーレ大阪 2F エメラルドルーム
参加者：四宮G、簡GE、土方20－21地区副代表幹事、派遣生６名、委員会関係者10名、ROTEX９名、保護者・クラブ担当者９名

COVID-19の影響を大きく受け、来日生は早々に帰国し、本年度の派遣生も無事帰国いたしました。

例年開催される「来日生・派遣生歓送会」に代わって「派遣候補生　最終オリエンテーションと終了証贈呈式」を催しました。開催に当たってはウイルス感染に備え、ソーシャルディスタンスを確保すべく広い会場を準備し、入場に際しては体温測定、マスク着用を義務付け、受付もマスク、フェースシールドを着用しての対応をとった他、使用マイクもその都度洗浄いたしました。

本来８回のオリエンテーションですが、ZOOM開催も含め7回に短縮し、異例ずくめではありましたがこの日を無事迎えることができました。

ZOOM開催に当たって、派遣候補生たちは資料も完ぺきに準備し素晴らしい発表をしていただきました。当委員会も自信をもって派遣することができると考えております。

派遣生たちは残念ながら2020-21年度には出向できませんが、全員2021-22年度以降に出発する意向を示しております。

今回のオリエンテーションを終了し、地区より終了証を授与いたしました。我々委員会は彼らに寄り添い今後も支援してまいります。

派遣候補生オリエンテーション終了後、引き続き「ROTEX総会」が開催されました。

本年度は彼らが企画した来日生、派遣候補生に対する事業が年初よりすべて中止となりました。次年度は来日生も来ませんので、この機会に年間の事業の検証、また、派遣生もROTEXメンバーとして迎え組織の強化を図る1年になります。

厳しい状況下ではありますが、健康に気を付け活動していくことを願っております。

JAPAN

2020学年度
米山奨学生オリエンテーション 報告

米山奨学委員会 委員長　清 水 久 博
（大阪南RC）

日　時：令和2年6月23日（火）16:00～17:30
場　所：ヴィアーレ大阪
16:00～16:35　新規奨学生・カウンセラー合同オリエンテーション
2F「クリスタル」「エメラルド」　5F「レガート」
16:55～17:30　新規奨学生オリエンテーション・米山学友会（関西）説明
2F「クリスタル」
新規・継続カウンセラーオリエンテーション
2F「エメラルド」　5F「レガート」

参加者：四宮孝郎DG、簡仁一GE、新規米山奨学生、カウンセラー、関スラ米山学友会（関西）副会長、米山学友会（関西）会員、地区米山奨学委員、次年度地区米山奨学委員

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となっていた、国際ロータリー第2660地区2020学年度米山奨学生オリエンテーションが6月23日(火)ヴィアーレ大阪に於いて開催されました。

例年、新規・継続の米山奨学生、指導教官、クラブ会長、クラブ米山委員長、カウンセラーを対象に行っていましたが、今年度はコロナ禍であるため、参加対象を限定し会場も3か所に分け、密を避ける形での開催としました。参加者には受付で感染防止対策をしっかりと行い会場に入っていただきました。

清水久博次年度委員長の司会のもと、ZOOMでの会場中継を行い3会場同時に奨学生・カウンセラー合同オリエンテーションが行われました。

まず廣瀬彰久委員長の開会挨拶の後、四宮孝郎DGより歓迎の言葉を頂きました。米山記念奨学会副理事長の若林紀男PGと同評議員の松本進也PGから寄せられたメッセージを司会者により代読がされ、その後、新規奨学生による地区確約書の作成が行われました。簡GEの中締めをもってオリエンテーション前半が終了しました。

会場移動と休憩をはさみ、清水久博次年度委員長が新規奨学生（32名）対象のオリエンテーションを、生駒伸夫副委員長と末松大幸副委員長が2会場に分かれカウンセラー対象のオリエンテーションを行いました。また、新規奨学生に対しては、米山学友会（関西）より、今年度から本格的に導入するメンター制度の説明がありました。米山奨学生に選ばれたもののロータリアンとの交流もなかなか図れず不安を覚えていた新規奨学生にとって、このオリエンテーションが不安解消の一助になったものと感じました。

初めての試みではありましたが、大きな混乱もなくオリエンテーションは無事終了しました。

2020年度
米山奨学生学友会（関西）総会 報告

米山学友会（関西）会長　関 ス ラ

日　　時：2020年7月5日 18:00〜19:00
方　　式：Web総会
参加人数：ライブ配信中視聴者数計183名・最大同時視聴者数61名

毎年学友による多様な余興の舞台で飾られてきた米山学友会の総会。昨今の残念な状況に、我々米山学友会は総会をオンラインで開催しました。リアルタイムでみんなが視聴しながら、チャット機能を使い互いの意見も共有できる「録画映像ライブ送出システム（プレミアム公開）」を使い、YouTubeプラットフォームの利点を積極的に活用した総会でした。総会の内容のみならず、オンライン世界に作られた会場で世界各地の学友とロータリアン、奨学生が会えた意味深い時間でした。

Web総会だった分、100人を上回る今までのオフライン総会参加者数に比べ、多くのロータリーファミリーが総会に参加しました。最大同時視聴者数は61名、ライブ配信中の全体視聴者数は183人に至りました。総会映像はライブ配信以降も掲載され、現在まで345回の再生数に到達しています（7月28日現在）。

総会は1時間の間行われ、大きく挨拶・活動報告（会計報告及び監査）・新会長就任・新年度活動計画・終わりの挨拶の5つのセクションで構成されました。アリフ直前会長の挨拶で始まった総会は、簡Gと清水米山委員長の挨拶に続き、台湾・韓国・タイ・ネパール・マレーシア・ミャンマー・モンゴル学友会など世界各地の学友からのお祝いメッセージ（ミャンマー、モンゴル学友会からの映像は編集日程関係により別途掲載）及び、トーゴ出身の親善大師アヘゴ学友のスピーチがありました。そして活動報告からは、2019年度に新たに導入した新規奨学生ロータリー米山勉強会を始めWEB感謝祭に至るまで、2019年度アリフ直前会長の活動目標「より良い変化へ」のように、新しい変化の風があったことがわかりました。

それに加え、今年度新会長に就任した関会長は「日本から世界へ、世界から日本へ」という活動目標を発表しました。この活動目標でロータリアンから始まった世界人材育成を支援する温かい気持ちが世界に広がり、日本社会への貢献に戻ってくる米山の肯定的循環を、奨学生と学友の積極的な活動を通じて拡張していきたいという抱負を表しました。

華麗なる総会ではありませんでしたが、時代と状況に合わせて成長し進んでいく米山学友会の姿を確認できる総会だったと評価します。

2020年度米山学友会の総会映像は関西米山学友会Youtubeチャンネルからご視聴できます（QRコードを参照）。

廣瀬直前委員長への
感謝の挨拶
閔　スラ（ミン スラ）
2020-2022米山奨学生学友会(関西) 会長

日本から世界へ、
世界から日本へ

Kansai Yoneyama Alumni Association
関西米山奨学生学友会

活動報告
新規奨学生勉強会

Kansai Yoneyama Alumni Association
関西米山奨学生学友会

地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト代表　北山慎基
（大阪天満橋RAC）
地区広報委員長　川原大樹
（大阪東RAC）

「リーダーシップフォーラム」報告

新年度に向けて、下記の日程で「リーダーシップフォーラム」を開催致しました。

開催日時：2020年6月21日（日）　14:00 開会点鐘・16:00 閉会点鐘
開催場所：WEB配信の視聴が可能な環境（自宅等）
ホストクラブ：2020－21年度ローターアクト地区役員
登 録 料：無料
出席人数：約140名

当初の予定では、「岸部市民センター」にて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地での開催を中止とし「Zoom」を使用して開催しました。

多くの方にご参加いただいたため、「Zoom」の参加人数上限の都合上、「三役理事会部門」「委員会兼新人部門、広報部門」の２つに分かれて、同時並行開催という形で行いました。

「三役理事会部門」では全体会→分科会の順に、「委員会兼新人部門、広報部門」では分科会→全体会の順に実施しました。

全体会

全体会では、2020-2021年度の地区ターゲット、活動方針、地区表彰基準、西ゾーン及び東ゾーンのゾーンターゲットを発表しました。2020－21年度の地区ターゲットは「BREAK THROUGH」となります。

現在、新型コロナウイルス等、多くのクラブが活動していく上で様々な障害が発生しております。このターゲットには、そのような困難な状況や各クラブにおける大きな壁を打ち破る為に、第2660地区ローターアクトクラブ（以下RAC）のメンバー全員が進歩を遂げ、力強く邁進していってほしいという思いが込められています。

東ゾーンターゲットは、明るく笑顔でRACを楽しんでほしい、という思いを込めて「Chain of smiles」、西ゾーンターゲットは、RAC活動に対して一歩踏み出す勇気を持ってほしい、という思いを込めて「TAKE A NEW STEP!」としました。

また、地区表彰基準では新たに「特別広報賞」を設けました。昨年度、各クラブに、インスタグラムのアカウントを作成していただき、例会案内や例会報告を行っていただきました。今年度はそういった広報活動に対して、点数化・順位付けを行い、さらに広報活動を活性化させていきます。この「特別広報賞」は、地区年次大会で表彰させていただきます。

分科会

「三役理事部門」「委員会兼新人部門」「広報部門」の分科会を行いました。

三役理事会部門では、会長、幹事、会計の業務内容の発表に加えて、RACについて、クイズ形式で問題を出題しました。このクイズは大いに盛り上がり、参加者にも非常に好評でした。

委員会兼新人部門では、各委員会(クラブ奉仕・国際奉仕・社会奉仕・専門能力開発)の内容・特徴を、実際行った例会と絡めながら紹介しました。また、グループワークを行い、例会のアイディアを参加者に考えていただきました。

広報部門では、広報委員会の内容や活用しているWebツール(RACのホームページやSNS)の紹介に加えて、インスタグラムの一斉投稿を行いました。地区広報委員を交えて、フォローを行いながらインスタグラムの一斉投稿を行いました。

現在、新型コロナウイルス等の影響により、会場での開催が困難なクラブもございますが、昨年度よりも増して精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2020－21年度 国際ロータリー 第2660地区
MY ROTARY 登録状況［2020年7月度］

	クラブ名	会員数	登録人数	%
IM第1組	池田	30	25	83.3%
	池田くれは	33	33	100.0%
	箕面	27	17	63.0%
	箕面千里中央	17	8	47.1%
	大阪水都	36	26	72.2%
	大阪中央	58	58	100.0%
	大阪北梅田	58	33	56.9%
	大阪北	196	159	81.1%
	大阪大淀	33	20	60.6%
	大阪そねざき	33	17	51.5%
	大阪梅田	35	23	65.7%
	大阪梅田東	29	26	89.7%
	豊中	38	25	65.8%
	豊中千里	35	23	65.7%
	豊中南	22	13	59.1%
	合計	680	506	74.4%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
IM第2組	茨木	28	22	78.6%
	茨木東	36	16	44.4%
	茨木西	30	27	90.0%
	大阪東淀ちゃやまち	21	7	33.3%
	大阪淀川	19	9	47.4%
	千里	28	18	64.3%
	千里メイプル	16	11	68.8%
	摂津	30	9	30.0%
	新大阪	31	25	80.6%
	吹田	57	53	93.0%
	吹田江坂	26	20	76.9%
	吹田西	47	47	100.0%
	高槻	49	36	73.5%
	高槻東	29	29	100.0%
	高槻西	18	14	77.8%
	合計	465	343	73.8%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
IM第3組	大東	38	26	68.4%
	大東中央	28	8	28.6%
	枚方	45	21	46.7%
	門真	26	11	42.3%
	交野	40	15	37.5%
	香里園	16	12	75.0%
	くずは	84	81	96.4%
	守口	40	14	35.0%
	守口イブニング	24	6	25.0%
	寝屋川	37	9	24.3%
	大阪東	124	96	77.4%
	大阪城東	34	18	52.9%
	大阪城北	59	43	72.9%
	大阪鶴見	28	20	71.4%
	合計	623	380	61.0%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
IM第4組	東大阪	70	56	80.0%
	東大阪東	67	39	58.2%
	東大阪西	25	8	32.0%
	東大阪中央	21	13	61.9%
	東大阪みどり	18	6	33.3%
	大阪柏原	28	12	42.9%
	大阪御堂筋本町	47	25	53.2%
	大阪難波	58	27	46.6%
	大阪ネクスト	22	13	59.1%
	大阪南	184	152	82.6%
	八尾	68	46	67.6%
	八尾中央	12	9	75.0%
	八尾東	27	7	25.9%
	合計	647	413	63.8%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
IM第5組	大阪堂島	46	29	63.0%
	大阪フレンド	26	15	57.7%
	大阪みおつくし	14	7	50.0%
	大阪西北	34	20	58.8%
	大阪リバーサイド	33	32	97.0%
	大阪船場	35	21	60.0%
	大阪心斎橋	39	29	74.4%
	大阪西南	99	72	72.7%
	大阪ユニバーサルシティ	39	33	84.6%
	大阪アーバン	24	23	95.8%
	大阪うつぼ	39	31	79.5%
	大阪西	103	58	56.3%
	合計	531	370	69.7%

	クラブ名	会員数	登録人数	%
IM第6組	大阪	252	84	33.3%
	大阪イブニング	14	10	71.4%
	大阪平野	50	44	88.0%
	大阪城南	43	43	100.0%
	大阪中之島	36	33	91.7%
	大阪大手前	23	22	95.7%
	大阪咲洲	20	16	80.0%
	大阪東南	33	28	84.8%
	大阪天満橋	45	26	57.8%
	大阪天王寺	51	33	64.7%
	大阪帝塚山	47	29	61.7%
	合計	614	368	59.9%

	会員数	登録人数	%
2020年 7月 1日	3560	2380	66.9%

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2020年8月号　No.1
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

COVID-19感染拡大の中でのクラブ運営

新しい年度が始まりましたが、コロナウイルスの感染拡大が世界中で収束が見えない中、各地区・クラブは地区行事やクラブ例会もコロナ前には戻れず、厳しい状況にあるものと拝察いたします。

3大研修もオンラインやビデオでの研修を余儀なくされた地区がほとんどであったかと思います。新年度が始まる前に、ガバナーエレクトと会長エレクトがface to face の会合を持つことが出来ずに新年度を迎えたのではないかと考えます。そのような状況を考慮すると、情報を共有する方法として、否応なくオンラインミーティングやユーチューブなどを上手に活用する必要があります。ガバナーはじめ地区リーダーには、この機会に、地区・クラブレベルでのITリテラシーを向上するようリーダーシップを発揮していただきたいと考えます。2月にRIより提供された資料によりますと、「My ROTARY」登録率は高い地区でも65%にとどまり、低い地区では20%に未だ届かない地区も散見されます。

改めて指摘するまでもなく、RIからの情報はほとんどが「My ROTARY」経由となっています。様々な奉仕活動や資料、ロゴ、テンプレートやラーニングセンターでの研修などが利用可能です。この機会に是非、クラブ会員、特にご高齢の会員への支援を地区リーダーの方々にお願いしたいと思います。先日、地区内のクラブからオンライン例会への招待があり、メークアップをいたしました。卓話の講師は、2830地区の関場PGがお話され、2690地区、松本PG他1名の会員が参加され、総勢70名近い例会でした。卓話の前には、グループごとに分かれて、zoomでの会話で盛り上がり、内容の濃い例会となりました。マローニー前会長は、先月に開催された各地域ロータリーコーデイネーターとのzoomでのミーテイングで次のことを強調されました。1つはzoom等オンラインでの例会の奨励、2つ目は、ハイブリッド型（通常例会とオンライン例会のミックス）の奨励、そして、最後はコロナ下、大変な状況であるが「会員増強」の重要性を強調されました。是非、この機会を捉え、ITリテラシーを向上させ、合わせて「My ROTARY」の登録率を上げるよう奨励ください。

前年度末に、各地域で地区・クラブレベルでの「戦略計画」の導入状況を、調査いたしました。その結果、ほとんどの地区で「戦略委員会」は設置され、活動をされていましたが、クラブでの「戦略計画」導入には相当な温度差があることが分かりました。中には、地区内クラブにおいて「戦略計画」導入クラブ“0”という地区もいくつか散見されました。コロナウイルス感染拡大下、各クラブはその所在する地域社会での立ち位置を再確認し、クラブの現状を踏まえたうえで、クラブのビジョンを再度、明確にする必要があると思います。これまでの、固定化した例会の在り方やコロナ後への対応を踏まえたうえでの例会など再考する必要があると感じています。
コロナ前の社会には戻れない中で、この機会に、クラブの戦略計画を真剣に考える時にあると思います。

第２地域　ロータリーコーディネーター　水野　功（東京飛火野RC）

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2020年8月号　No.2
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

今こそロータリーがその真価を発揮する時

　みなさんは最近My ROTARYのロータリーショーケースを覗かれたことがあるでしょうか？世界中のロータリークラブがコロナ支援の為に行った数々のプロジェクトが紹介されていますが、その数の多さには嬉しい驚きがあります。日本国内でもたくさんのクラブが医療従事者へのフェイスシールドや防護服の寄贈、バランスの取れた食事の提供などを行なっています。新型コロナウイルス感染拡大のこの時代は我々人類にとって大きな試練の時ではありますが、今こそロータリーがその真価を発揮すべき時であると言えます。それにはまずロータリアン自身がロータリーの価値を再認識すること、そしてそれを外に向けて発信していくことが重要です。そうすることが会員の気持ちをロータリーにつなぎとめることになり、同時に新会員を迎えるきっかけともなりえます。「世界を変える行動人」として奉仕活動を行っていきましょう！そして、それを伝えていきましょう！

ロータリーの「新しいビジョン声明」を支える行動計画、４つの優先事項、その１は「より大きなインパクトをもたらす」であり、その２は「参加者の基盤を広げる」であります。この二つの優先事項がつながりを持つためには、ロータリアンは自分たちの体験したことを自分たちの言葉で語る必要があります。その体験を聞いた人たちがインスピレーションを受け取って、ロータリーに参加する気持ちになることが大切なのです。では私たちロータリアンが外に向けてロータリーを発信する時、それがＨＰであれ、ＳＮＳであれ、イヴェントであれ、講演会であれ、ポイントとなることは何なのでしょうか。

～イメージを統一して伝える～

ロータリアンが思い思いにロータリーのイメージを伝えるよりも、統一性を持ったブランドとして伝える方が効果的です。それには私たちが、ロータリーの価値観を共有するだけでなく、ロータリーのボイスである「賢明さ」「おもいやり」「粘り強さ」「行動を促す力」を念頭に置いて話をする、ロゴを正しく使う、ロータリーを表す色を使う、私たちが行動人であることを表す写真を使う、などが有効です。
それを助けてくれるのがMy ROTARYにある「ブランドリソースセンター」なのですが、残念ながらまだまだロータリアンの間で有効活用されているとは言えないのが現状です。今年度は多くのクラブに積極的に活用していただけるよう努めたいと思います。

～感動と共に伝える～

大切なのは「自分の言葉で感動を伝えること」です。どんなに立派な文章でも、講演でも発信する人の心が受信する人に伝わらなければ、仮に情報は届いたとしても、インスピレーションは届きません。私たちは自分の体験したことを自分の言葉で感動を持って語らなければなりません。コロナ禍のために、多くの人が顔を合わせて同じ場に集うことがむずかしい時代ではありますが、幸いフェイスブック、ツイッターなどのＳＮＳ，地元の新聞やテレビ局のニュースなどのメディアは私たちに味方してくれます。１０月２４日は「世界ポリオデー」ですが、そのイヴェントでさえ、今年度はオンライン上で行うことを考えてみてもいいのではないでしょうか。このような時代こそ、ロータリーが放つ光が世界に届くように活動していきたいと思います。

第２地域　ロータリー公共イメージコーディネーター　服部　陽子（東京広尾RC）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.243
2020年6月12日
発行

1. 奨学生からのＦＡＱ ― コロナ禍の中で ―

新型コロナウイルスによる影響で、現在、奨学生からよく聞かれる質問をご紹介します。

Q 奨学期間が始まっているのに、日本政府の入国制限（あるいは母国の出国制限）のため、いつ日本に入国できるか見通しが立たず、不安です。

現在日本以外の海外にいる新規・継続奨学生には、「出国届」の Web 登録をお願いしています。通常、出国の最大日数は 90 日としていますが、当会選考・学務委員会での協議により、7 月末までは、90 日を超える出国を認める特別措置を取ります。8 月以降の対応については、同委員会にて協議の上、決定次第お知らせします。奨学生は、海外出国中の間も、世話クラブやカウンセラー、地区米山記念奨学委員会とＥメール等で常に連絡を取るようにしてください。

Q 日本政府による『学生支援緊急給付金』は、米山奨学生も申請できますか？

この給付金は、国がコロナの影響で困窮する学生を救済するために設けた緊急支援金であることから、当会で禁止する「他の奨学金の二重受給」には当たらないと判断し、米山奨学生が所属する大学・学校へ申請し、支給対象者として選ばれた場合には「併給可」とします。ただし、生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高いことや、仕送りが月額平均 9 万円以下であることなどの支給要件がありますので、当会の奨学生が支給対象になるかどうかは、各大学・学校の判断によります。

2. 博士号取得状況

2019 学年度(19 年 4 月～20 年 3 月)に博士号を取得した奨学生・学友は 43 人、これまでの累計は 3,771 人となりました(6 月 9 日現在)。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています。名前入りの、世界にただ一つの腕時計となっており、大変好評です。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

文字盤の裏に氏名を刻印

- 奨学期間終了後の取得でも対象となります
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約 2 週間かかります

申請方法

「学位記の写真」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へ FAX またはメールでお送りください。(FAX:03-3578-8281／メール:scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

3. 寄付金速報 ― 今年度は 30 日着金分まで ―

5 月までの寄付金累計額は、前年同期と比べて 4.9%減（普通寄付金:2.2%減、特別寄付金:6.2%減)、約 6,300 万円の減少となりました。新型コロナウイルスによる自粛や休業・休校要請は徐々に解除されているものの、5 月単月では前年比 71%となっており、コロナ以前の状態には至っていません。こうした状況下でも、多くのロータリアンからご寄付をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6 月 30 日（火）までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。ご送金の際には日程に余裕を持ってお送り下さい。今年度最後のご支援をよろしくお願いいたします。

4. 学友によるマスク支援 第２報

第 2770 地区

第 2770 地区（埼玉県南東部）米山学友会が 5 月 24 日、県内にある 2 箇所の高齢者福祉施設へマスクを寄贈しました。

「介護施設などコロナの最前線で働く方々に対して、米山学友会として何かできないだろうか？」との思いから、この企画がスタート。海外在住者を含む同学友会会員から寄せられた寄付金を原資に、春日部市および越谷市の高齢者福祉施設へ計 10,500 枚のマスクを寄贈しました。同施設には毎年、地区米山奨学委員会の指導のもと、現役奨学生と学友会が慰問奉仕活動をしています。

第 2760 地区

第 2760 地区（愛知県）でも 5 月 21 日、米山奨学生・学友会と地区米山委員会が共同で、要介護高齢者の介護医療院など 5 つの施設へ計 5,000 枚のマスクを寄贈しました。「コロナウイルスに負けず、少しでも皆さんの励みになれたらとの思いを込めました」と、会長の林琼さんは語ってくださいました。

5. 2021 年台北国際大会に参加しましょう！

今年度のロータリー国際大会は、新型コロナウイルス拡大により中止となりましたが、6 月 20 日から、早くも来年 6 月 12～16 日に台北で開催される国際大会の登録がスタートします。

開会式前日の 2021 年 6 月 12 日には、昨年の「絆 in モンゴル」につづく第 3 回世界米山学友の集い「出会い in 台湾」が、台湾米山学友会の主催で開催される予定です。

そのほか、同国際大会では、米山記念奨学会がブースを出展するほか、分科会を開いてロータリー米山記念奨学事業を世界のロータリアンへ大きくＰＲする予定となっています。今月 20～26 日の期間に登録した方には特別プロモーション割引が適用されます。米山学友とともにぜひご参加ください。

▼台北国際大会についての詳細
www.riconvention.org/ja/taipei

事務局勤務体制について

【6 月の事務局開室時間】平日 10:30～16:00

6 月は、テレワークや時短・時差通勤を併用し、段階的に通常業務への移行を図ってまいります。上記時間は事務局職員が交代で出勤しており、直接電話に出て対応させていただきますが、お問い合わせの際には、引き続きＥメールも併せてご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

下　俊 一 郎 会員 （寝屋川RC）　2020年6月20日 ご逝去　満72歳

幹事、理事
米山功労者、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

亀 井 信 昭 会員 （寝屋川RC）　2020年7月23日 ご逝去　満71歳

IM第3組ガバナー補佐、会長、副会長、理事
米山功労者、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

お知らせ

例会変更　八尾中央RC

第２、第４火曜日（月により変更あり）18時30分～
ビジターフィは1500円より2000円（食事なし1000円）に変更致します。

例会場変更　八尾東RC

大黒殿　２F　福の間
〒581-0003　大阪府八尾市本町6－10－1　TEL：072－991－1834
例会は原則として第1、第2、第4金曜日ですが、クラブHPにて要確認
2021年1月以降の例会場は現段階では未定

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX または E-mail にてお願い致します。
  折り返し、できるだけ早くご連絡いたします。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月２０日までに、事務所必着でお送りください。
  原稿はなるべくパソコンで作成をお願いします。掲載の採否、字数の整理、並びに止むをない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任ください。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にて FAX をお願いいたします。

2020-21 年度　国際ロータリー　第２６６０地区　ガバナー事務所のご案内

事務所スタッフ

ガバナー　簡　仁一
地区代表幹事　吉田政雄
地区副代表幹事　土方慶之
事務所長　五味千秋
事務職員　栗正久美　井上望美
舩橋美紗子　杉本亜鶴巳
加茂春日

所在地

〒541-0052　大阪市中央区安土町 1-5-11　トヤマビル東館６階
TEL　06-6264-2660　FAX　06-6264-2661
Email　gov@ri2660.gr.jp

※地下鉄堺筋線　堺筋本町　⑫番出口直ぐ

ホームページ

https://www.ri2660.gr.jp/

勤務時間

9：30 ～ 18：00

休日

土曜・日曜・祝日
夏季休暇　8/11 ～ 14
冬季休暇　12/29 ～ 1/4

ガバナー事務所に会議室を併設しております（最多３６名）。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください

月信編集委員会

ガバナー	簡　仁一（茨木 RC）	地区副代表幹事	土方慶之（茨木 RC）
地区代表幹事	吉田政雄（茨木 RC）	担当地区幹事	鈴木一正（茨木 RC）

Rotary

Rotary International District 2660
Toyama Bldg.East 6F,1-5-11 Azuchi-machi,Chuo-ku,Osaka 541-0052 Japan
TEL：+81-6-6264-2660　FAX：+81-6-6264-2661　E-mail：gov@ri2660.gr.jp